

令和8年度

聴講生募集要項

山梨県立産業技術短期大学校

募 集 案 内 （聴講生）

1 学科及び受入人員

科 名	キャンパス名	受 入 人 員
生 産 技 術 科	塩山・都留	若干名
電 子 技 術 科	塩山・都留	若干名
観 光 ビ ジ ネ ス 科	塩 山	若干名
情 報 技 術 科	塩 山	若干名

2 日 程

区 分	日 程
出 願 手 続 き 期 間	令和8年2月25日(水)～ 3月 3日(火)必着
入 学 試 験 日	令和8年3月 6日(金)
合 格 発 表 日	令和8年3月11日(水)
入 学 手 続 き 期 間	令和8年3月13日(金)～ 3月23日(月)必着

3 入学検定料

9,800 円

4 入 学 料

- 入学の日の1年前から引き続き山梨県に住所を有する者

28,200 円

- 上記以外の者

47,000 円

5 授 業 料

- 一単位につき

5,000 円

※ 聴講生は、入学料や授業料の減免制度の対象外です。

聴講生募集要項

1 出願資格

高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者、又はこれと同等以上の学力を有すると認められる者

2 出願手続き

☆志望科目の確認等が必要なため、必ず出願前に教務学生課と協議をお願いします。

(1) 出願手続き期間

令和8年2月25日(水)～ 3月3日(火)

○ 受付時間は午前9時から午後5時です。

○ 郵送又は持参により出願してください。郵送の場合は、簡易書留郵便としてください。

(注)令和8年3月3日(火)必着

(2) 出願書類の提出先

山梨県立産業技術短期大学校 教務学生課 (〒404-0042 甲州市塩山上於曽1308)

※ 塩山キャンパス・都留キャンパスどちらの受験者も上記場所に提出してください。

(3) 出願書類

■ 入学願書・受験票(様式第1号)

必要事項を記入のうえ、写真(3ヶ月以内に撮影したもの)を貼ってください。

■ 入学検定料納付用紙(様式第3号)

入学検定料(9,800円)は、山梨県手数料納付連絡票(聴講生用)(様式第2号)により、手数料等収納用レジで支払いの上、「納付済証」を入学検定料納付用紙(様式第3号)に貼付してください。

※レジの設置場所は、納付連絡票のQRコードからご確認ください。

(注)領収書の上部に「◆◆納付済証◆◆」の印字があるものを貼付してください。

■ 最終出身校の卒業証明書又は修了証明書

■ 履歴書(様式第4号)

必要事項を記入してください。

■ 志望理由書(様式第5号)

自筆で、横書きしてください。(400～500字)

■ 聴講承認書(様式第6号)

現在、在職中の者又は在学中の者は、在籍している事業所の代表者又は学校長の承認を受けてください。

■ 健康診断書(様式第7号)

手続きの3ヶ月以内に、所定の用紙により医師が作成したもの

■ 住民票抄本

生年月日、住所、住民となった日が記載された、出願者本人のみのもので、マイナンバー(個人番号)の記載のないもの

■ 受験票返送用封筒(指定用紙)

住所・氏名・郵便番号を記入し、切手(460円)を貼ってください。

(4) 受験票の交付

受験票は入学願書を受理後、郵送します。

令和8年3月5日(木)までに届かない場合には、問い合わせてください。

(5) 注意事項

提出された書類及び入学検定料は、返還しません。

3 入学試験

(1) 試験実施日

令和8年3月6日(金)

(2) 試験会場

山梨県立産業技術短期大学校 塩山キャンパス

甲州市塩山上於曽1308 TEL (0553) 32-5200 (代)

※ 塩山キャンパス・都留キャンパスどちらの受験者も上記会場で実施します。
(裏表紙の試験会場案内図を参照)

(3) 試験方法

書類審査及び面接試験の結果を総合して行います。

(4) 試験科目及び試験開始時刻

試 験 科 目	試 験 開 始 時 刻
面 接 試 験	午後1時

(5) 受験上の注意

- ① 試験開始10分前までに受付をしてください。
- ② 携帯電話等は電源を切り、鞆の中に入れておいてください。
- ③ 受験票を必ず持参してください。

4 合格発表

(1) 発表日時

令和8年3月11日(水) 午前9時

(2) 発表方法

電話連絡するとともに、文書で通知します。

5 入学手続き

(1) 入学手続き期間

令和8年3月13日(金)～3月23日(月)

- 受付時間は午前9時から午後5時までです。
- 郵送の場合は、簡易書留郵便としてください。

(注) 令和8年3月23日(月)必着

(注) 期間内に手続きが行われない場合、入学を辞退したものとみなします。

(2) 書類の提出先

山梨県立産業技術短期大学校 教務学生課 (〒404-0042 甲州市塩山上於曾1308)

※塩山キャンパス・都留キャンパスどちらの受験者も上記場所に提出してください。

(3) 提出書類

手続に必要な書類は、合格通知とともに送付しますので、必要事項を記入して、期間内に提出してください。

指定用紙

入 学 願 書
(聴 講 生 用)

山梨県立産業技術短期大学校長 殿

※欄は記入しないでください。

私は、県立産業技術短期大学校での聴講を希望します。

			受 験 番 号
			※
志 望 学 科 キ ャ ン パ ス	生産技術科 電子技術科 観光ビジネス科 情報技術科	塩山キャンパス 都留キャンパス	緊急連絡先(携帯電話番号)
志 望 科 目	(単位)外裏面のとお		
ふりがな			写 真 欄 写真貼付 サイズ;縦 4cm・横 3cm 手続き前3ヶ月以内に 上半身・脱帽・無背景で、 正面から撮影したもの 裏面に氏名を記載する こと
氏 名			
生 年 月 日	昭和・平成 年 月 日生 (満 歳)		
ふりがな			
現 住 所			
〒 - 電話番号 ()			
合格通知送付先 (現住所と同じ場合は不要)			
〒 - 電話番号 ()			
最 終 出 身 校	卒業		

注意：志望の学科及びキャンパスを丸で囲んでください。

切り取らないでください

山梨県立産業技術短期大学校 受験票(聴講生用)

※欄は記入しないでください。

志 望 学 科 キ ャ ン パ ス	生産技術科 電子技術科 観光ビジネス科 情報技術科	塩山キャンパス 都留キャンパス	受 験 番 号
志 望 科 目	(単位)外裏面のとお		※
ふりがな			
氏 名			

- 志望の学科及びキャンパスを丸で囲んでください。
- 試験開始10分前までに受付をしてください。

写 真 貼 付

サイズ;縦 4cm・横 3cm

手続き前3ヶ月以内に
上半身・脱帽・無背景で、
正面から撮影したもの

裏面に氏名を記載する
こと

○ 記入上の注意

- ・ 黒のインク又はボールペンを使用し、楷書で正確に記入してください。
- ・ 現住所と合格通知送付先が同じ場合、合格通知送付先は記入不要です。

志望科目

科 目 名	単位数
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

切り取らないでください

選考試験日時 令和8年3月6日(金) 午後1時～

当日連絡先

山梨県立産業技術短期大学校
(塩山キャンパス)
0553(32)5200(代表)

※ 当日の連絡は緊急の場合に限ります。

山梨県 手数料納付連絡票

手数料名	産業技術短期大学校入学検定料(聴講生)		
略称	山梨県手数料0082502		
納付金額	9,800円		



◆ 留意事項

- ・ 手数料等を納付するときは、本票をレジ設置窓口に持参してください。
- ・ 窓口で手数料等を納付されましたら、レシートと合わせて発行される納付済証を受け取り、「入学検定料納付用紙」に貼付し、学校へご提出ください。
- ・ 納付済証は再発行できませんので、紛失しないようご注意ください。
- ・ キャッシュレス決済の場合、領収書を発行することができません。
領収書の発行を希望される場合は、現金による納付をお願いします。

◆ 手数料等収納用レジの設置場所

- ・ 下記QRコードからご確認ください。





入学検定料納付用紙

(聴 講 生 用)

氏 名	
受 験 番 号	※

※欄は記入しないでください。

納付済証貼付欄

<◆◆納付済証◆◆>	
	
【大切なお願い】 最上部に「納付済証」と記載 されている方のレシートを手続き の申請先へ提出してください。	
領収書	
山梨県甲府市丸の内1-6-1 TEL.055-223-1308	
2024	イメージ
山梨県手数料0082502 1	¥ 9,800 円
小計	¥ 9,800
合計	¥ 9,800
内消費税	¥ 0
合計点数	1点
お預り	¥ 9,800
現金	¥ 9,800
おつり	¥ 0
	
202500002300100000066	

○ 納付連絡票により、レジで入学検定料を支払いの上、納付済証を貼付してください。

様式第 4 号

履 歴 書
(聴 講 生 用)

令和 年 月 日現在

※欄は記入しないでください。

受 験 番 号		※
ふりがな 氏 名	生 年 月 日 昭和 年 月 日生 平成 (満 歳) 印	
ふりがな 現 住 所 (〒 -)	電 話 番 号 - - 方呼出	
ふりがな 連 絡 先 (〒 -) (現住所以外に連絡を希望する場合のみ記入)	電 話 番 号 - - 方呼出	

学 歴		
就 学 期 間	学 歴	卒業・中退・修了
・ ~ ・	立 高等学校	
・ ~ ・		
・ ~ ・		
・ ~ ・		
・ ~ ・		

職 歴	
年 月	勤 務 先 等
・ ~ ・	
・ ~ ・	
・ ~ ・	
・ ~ ・	
・ ~ ・	

取得資格等	
取 得 年 月 日	免 許 ・ 資 格
・ ・	
・ ・	
・ ・	
・ ・	
・ ・	

専門・職務内容など

・ 黒のインク又はボールペンを使用し、楷書で正確に記入してください

志望理由書

(聽 講 生 用)

受験番号	※	氏 名	
------	---	-----	--

※欄は記入しないでください。

[illegible]

自筆で、横書きしてください。

聴 講 承 認 書
(聴 講 生 用)

山梨県立産業技術短期大学校長 殿

所 在 地
.....

事 業 所 名
.....

電 話 番 号 ()
.....

代 表 者 氏 名 印
.....

次の者が貴校の聴講生となることを希望しているので、承認いたします。

志 望 学 科
.....

現 住 所
.....

氏 名 印
.....

健康診断書

※欄は記入しないでください。

山梨県立産業技術短期大学校長 殿

受験番号	※
令和	年 月 日

氏 名					
生 年 月 日	昭和・平成 年 月 日生（満 歳）				
現 住 所	〒				
電 話 番 号	()				
身 長	cm			色	
体 重	kg				
胸部X線検査	X 線 像			覚	
	撮 影 年 月 日	平成	年 月 日	眼	
	所見				
視 力	左	(.)	耳	疾	
	右	(.)			
聴 力	左	異常なし	難 聴（ 軽 ・ 中 ・ 高 ）		
	右	異常なし	難 聴（ 軽 ・ 中 ・ 高 ）		
その他の疾病異常					

上記のとおり診断しました。

令和 年 月 日

所 在 地
.....
医 療 機 関 名
.....
医 師 の 氏 名
..... 印

2026年度 授業科目一覧

掲載している科目のすべてを受講できる訳ではありません。
出願する前に聴講科目について協議をしてください。

生産技術科（塩山キャンパス・都留キャンパス）
専門学科科目

※2単位の授業は、1回100分の講義が18回

科目名	学年	開講時期	単位数	内容
制御工学概論	1 年次	前期	2	機械系技術者に必要な制御系の基本構成、入出力制御を学ぶ。
電気工学概論	1 年次	前期	2	機械系技術者に必要な電気の基本特性、回路構成を学ぶ。
情報工学概論	1 年次	前期	2	コンピュータの基本原理、処理技術を学ぶ。
材料工学	1 年次	後期	2	機械を構成する部品に多く使用される金属材料、特に鉄鋼材料を中心に、その性質や特徴などを学び目的に応じて適切な材料選択を行うのに不可欠な知識を習得する。
材料力学	1 年次	前期	2	機械設計の基礎となる、材料の力学的性質及び材料内部に発生する力について学ぶ。
機械力学	1 年次	後期	4	質点及び剛体の運動の關係を用いて、機械や機械部品に働く力について学ぶ。
熱と流体の力学	2 年次	前期	4	熱力学、流体力学の基礎について学ぶ。
総合力学Ⅰ	1 年次	前期	2	機械工学の基礎を学ぶ。
総合力学Ⅱ	2 年次	後期	2	実践的な問題演習と解説を中心に機械工学の基礎である 4 大力学を総合的に学ぶ。
機械製図	2 年次	前期	6	JIS（日本産業規格）に基づいた機械製図法を学び、設計及び作図する。また、作成した図面に基づいて機械製作し、加工者の立場に立った製図方法を研究する。
生産工学Ⅰ	2 年次	前期	2	効率よく正確な製品を量産するためには、生産工程の自動化や省力化が欠かせない。このために必要な方法について学ぶ。
生産工学Ⅱ	2 年次	後期	2	製品をつくるための生産工程と必要設備について学び、生産ラインのシステム設計の基礎知識を習得する。また、品質管理と品質向上のためには技術的に何が必要なのかなどの独創的なアイデアを生み出すことのできる素地を形成する。
安全衛生工学	1 年次	前期・後期	2	安全作業を行うために必要な基礎知識を学ぶ。
機構学	2 年次	前期	2	ベクトル数学を用いた平面機構の解析手法と自動機械としてよく使われる機構の特性について学ぶ。
機械加工学Ⅰ	1 年次	前期	2	金属部品の加工法全般と切削加工用の機械や道具について学ぶ。
機械加工学Ⅱ	1 年次	後期	2	切削以外の金属加工法や特殊加工法、砥粒による加工のほか、プラスチック部品製作の概要等を学ぶ。
数値制御Ⅰ	1 年次	前期	2	数値制御の概要を理解し、各種数値制御工作機械の構成と動作原理、プログラムの基本について学ぶ。
数値制御Ⅱ	1 年次	後期	2	各種数値制御工作機械の特徴と NC プログラムおよび自動化生産システムについて学ぶ。
油圧・空圧制御	2 年次	前期	2	産業用ロボットに使用されている空気圧・油圧アクチュエータの構造、システム構成、制御方法の基礎を学ぶ。また機械装置を用いて基本的な空気圧回路を理解する。
シーケンス制御	2 年次	前期	2	ベルトコンベアとハンドリングロボットを組み合わせた装置の機械制御について学ぶ。装置に搭載されているアクチュエータは、AC モータ、空気圧シリンダ、およびステッピングモータである。
測定法	2 年次	後期	2	課題や演習を通じて、測定の知識・技能向上を図る。
機械設計及び製図	2 年次	前期	4	機械装置を製作するために必要な機械製図と機械加工の技術を、技能検定の実技課題練習を通じて習得する。
メカトロニクス工学	2 年次	前期	2	産業用ロボット等に代表されるメカトロニクス装置における機械要素の基本的なメカニズムについて学ぶ。また、制御システムを構築するために必要なセンサ、コントローラ、アクチュエータに関する基礎知識と制御方法について学ぶ。

生産技術科（塩山キャンパス・都留キャンパス）
専門実技科目

科目名	学年	開講時期	単位数	内容
基礎工学実験	1 年次	前期・後期	5	実験を通じて物理の法則や工学の基礎を学ぶ。
機械工学実験	2 年次	前期	2	機械実験を通して、工学実験手法についての能力を拡充する。
情報処理実習	1 年次	前期	2	ワードやエクセルを活用した報告書作成の基礎を学ぶ。また、パワーポイントを用いた資料作成やプレゼンテーション演習を行う。
AIリテラシー	1 年次	後期	2	AI化が可能な業務を認識できる力を身に付ける。また、AIやIoT化に必要なプログラミング言語を学ぶ。
安全衛生作業法	2 年次	前期・後期	2	正しい作業方法や作業環境における危険防止策について、実技を通して習得する。
機械加工実習	1 年次	前期・後期	10	機械装置部品の製作を通じて、汎用工作機械と数値制御工作機械の操作方法を学ぶ。
数値制御加工実習Ⅰ	1 年次	後期	2	数値制御工作機械による基本加工技術を学ぶ。
数値制御加工実習Ⅱ	2 年次	前期	4	数値制御工作機械による応用加工技術を学ぶ。
機械制御実習	1 年次	後期	2	コイルやスイッチ、LED等を用いて基礎制御技能を取得する。
F A システム実習	2 年次	後期	6	Visual Basic 言語を用いた機械制御について学ぶ。
測定実習	1 年次	前期	2	機械部品の精密加工に使用する測定器の使い方を習得する。
機械設計実習	1 年次	前期・後期	6	2 次元 C A D を使用した機械装置の設計について学ぶ。
CAD実習	2 年次	前期	6	3 次元 C A D を使用した機械装置の設計について学ぶ。
CAM実習	2 年次	後期	2	C A D で作成した図形データから NC 加工プログラムを作成する方法を学ぶ。
CAE実習	2 年次	後期	4	3 次元 CAD/CAE 解析ソフトを利用して機械装置の設計・構造を学ぶ。

2026年度 授業科目一覧

掲載している科目のすべてを受講できる訳ではありません。

出願する前に聴講科目について協議をしてください。

電子技術科（塩山キャンパス）
専門学科科目

※2単位の授業は、1回100分の講義が18回

科目名	学年	開講時期	単位数	内容
基礎解析Ⅰ	1年次	前期	2	電気数学を学ぶ上で必要となる数学の基礎を学ぶ。
微分積分学	1年次	前期	2	フーリエ変換やラプラス変換で必要となる微分積分について学ぶ。
基礎解析Ⅱ	1年次	後期	2	電気数学を学ぶ上で必要となる数学の基礎を学ぶ。
微分方程式	1年次	後期	2	電子回路の解析で必要となる微分方程式の解法や、フーリエ級数展開、フーリエ変換について学ぶ。
電気数学Ⅰ	2年次	前期	2	電気・電子回路を学ぶ上で必要となる数学を基礎から学ぶ。
ベクトル解析と電磁気学Ⅰ	2年次	前期	2	ベクトル解析について学びながら、電磁気学における電磁場の性質について学ぶ。
電気数学Ⅱ	2年次	後期	2	電気・電子回路を学ぶ上で必要となる数学を基礎から学ぶ。
ベクトル解析と電磁気学Ⅱ	2年次	後期	2	ベクトル解析について学びながら、電磁気学における電磁場の性質について学ぶ。
情報工学	1年次	前期	2	電子工学を学ぶ上で必要となるコンピュータ関連の基本的な知識及び利用技術を学び、C言語によるプログラミングの基礎を学ぶ。
電子現象と電子回路	1年次	前期	4	アナログ回路や電子デバイスの動作原理を、電磁気学的な視点から学ぶ。
電気回路	1年次	前期	2	直流回路における基本的な理論や性質を学ぶことで、電気回路への理解を深める。
交流回路Ⅰ	1年次	後期	2	正弦波交流回路における基本的な理論や性質を学ぶことで、電気回路への理解を深める。
複素数と電気回路	1年次	後期	2	交流回路の計算に必要な数学を学ぶ。
交流回路Ⅱ	2年次	前期	2	演習問題を解くことで、交流回路の基礎理論についての理解を深める。
ラプラス変換と電気回路	2年次	前期	2	フーリエ変換とラプラス変換について学ぶ。また、フーリエ変換を用いた波形解析や、ラプラス変換を用いた過渡解析について学ぶ。
電子工学Ⅰ	1年次	前期	2	物質の構造や電子のふるまいなどを学ぶ。
電子工学Ⅱ	1年次	後期	2	半導体デバイスの動作原理を学ぶ。
制御工学	2年次	前期・後期	4	自動制御の基礎理論とシーケンス制御による制御方法について学ぶ。
生産工学	2年次	後期	2	工場の各部門の役割や課題を理解することで、製品を生産するとは何かを学ぶ。
安全衛生工学	1年次	前期	2	生産現場における安全衛生の確保・維持の仕方について学ぶ。
AIリテラシー	1年次	後期	1	AIの活用事例や各種データとの関連から、AIの可能性について学ぶ。
電子現象と計測Ⅰ	1年次	前期	2	第三種電気主任技術者試験の計測に関する範囲を中心に、電気や電子回路における計測の技術について学ぶ。
電子現象と計測Ⅱ	1年次	後期	2	第三種電気主任技術者試験の計測に関する範囲を中心に、電気や電子回路における計測の技術について学ぶ。
アナログ回路Ⅰ	1年次	後期	2	トランジスタやオペアンプを用いた各種電子回路の動作原理を理解し、回路設計手法について学ぶ。
アナログ回路Ⅱ	2年次	前期	2	各種電子回路の動作原理、電子機器への応用例及び具体的な回路の設計・製作方法について学ぶ。
デジタル回路	1年次	前期	4	コンピュータ、各種デジタル機器の基本となる論理演算、論理回路について学ぶ。
電子回路設計	2年次	前期	2	ライントレースカーを題材として、仕様を満足する電子回路の設計、さらに製作方法について学ぶ。
AI・IoTシステムデザイン	2年次	後期	2	AIとIoTで実現できることを理解し、活用方法について学ぶ。
IoTとセンサ工学	2年次	後期	2	センサの原理・製法について学ぶ。また、IoT（モノのインターネット）の基礎となるセンサ回路の設計・製作、および取得したデータのマイコンによる処理の方法について学ぶ。
コンピュータ工学	2年次	前期	2	コンピュータシステムのアーキテクチャを理解し、マイコンのハードウェアについて学ぶ。
電子回路演習	2年次	後期	2	これまでに学んだ電子回路についての演習問題に取り組む。
電子回路解析	2年次	後期	2	産業界で広く利用されている古典制御理論（PID制御）について学ぶ。
C言語プログラミング演習	2年次	後期	4	これまで学んだプログラミングについての演習問題に取り組む。また、応用プログラムを作成する能力を習得する。
技術論文の作法及び演習	2年次	後期	2	各種電子回路を題材として、技術文章の作成方法について学ぶ。

電子技術科（塩山キャンパス）
専門実技科目

科目名	学年	開講時期	単位数	内容
電気工学実験	1年次	前期	4	電圧・電流などの各種物理量を理解し、計測技術とレポート作成法を習得する。
電子回路実験	1年次	前期	4	基本的な電子回路の特性や動作を理解しながら、回路を製作・測定する技術を習得する。
アナログ回路実験Ⅰ	1年次	後期	2	トランジスタやオペアンプを使った各種増幅回路や演算回路を設計・製作して回路の特性や動作を理解し、アナログ回路の設計・製作技術を習得する。
アナログ回路実験Ⅱ	2年次	前期	4	アナログICを使った電子回路を製作して回路の特性や動作を理解し、アナログ回路の設計・製作技術を習得する。
デジタル回路実験Ⅰ	1年次	後期	4	各種論理回路を製作して回路の特性や動作を理解し、デジタル回路の設計・製作技術を習得する。
デジタル回路実験Ⅱ	2年次	前期	4	基本的なデジタル回路の動作原理を理解し、これを応用した回路を設計する。また、実際に回路を製作・デバッグすることで、回路の特性や動作を理解し、デジタル回路の設計・製作技術を習得する。
C言語プログラミングⅠ及び実習	1年次	前期	4	C言語による構造化プログラミングの基礎を習得する。
C言語プログラミングⅡ及び実習	1年次	後期	5	C言語の基本文法を学びながら、課題の分析やPADによる流れ図の設計手法を習得する。さらに、設計したPAD図を基に、C言語によるコーディング手法を習得する。
組込みプログラミングⅠ及び実習	1年次	後期	4	周辺デバイス制御のための組込みマイコン向けC言語プログラミング技術の基本を習得する。
組込みプログラミングⅡ及び実習	2年次	前期	6	周辺デバイス制御のための組込みマイコン向けC言語プログラミング技術の応用を習得する。
Pythonプログラミング及び実習	2年次	前期	4	Pythonによるプログラミング技術を習得する。シングルボードコンピュータ（Raspberry Pi）を用いて、生産性向上に必要となる、IoTの基礎技術を習得する。
制御工学実習	2年次	後期	4	FPGAを用いた回路制御技術について学ぶ。また、プレゼンテーション技術についても併せて習得する。
電子製図実習	1年次	後期	4	電子回路における製図手法と電子回路CAD及び回路シミュレーションの方法を習得する。
電子回路製作実習	2年次	前期	4	ライントレースカーを題材として、仕様を満足する電子回路の製作方法について学ぶ。また、各種工作機械による機械加工や、基板加工機による電子回路基板の製作方法についても学ぶ。
安全衛生作業法	1年次	前期・後期	2	生産現場における安全衛生の確保・維持の方策と災害発生時の対処の仕方について、実験・実習時に具体的に習得する。

2026年度 授業科目一覧

掲載している科目のすべてを受講できる訳ではありません。
出願する前に聴講科目について協議をしてください。

電子技術科（都留キャンパス）
専門学科科目

※2単位の授業は、1回100分の講義が18回

科目名	学年	開講時期	単位数	内容
基礎解析Ⅰ	1 年次	前期	2	電子工学を学ぶ上で必要となる数式の計算や関数について基礎から学ぶ。
微分積分学	1 年次	前期	2	フーリエ変換やラプラス変換を学ぶ上で必要となる微分積分について学ぶ。
基礎解析	1 年次	後期	2	電子工学を学ぶ上で必要となる三角関数と複素数について基礎から学ぶ。
微分方程式	1 年次	後期	2	電子回路の解析で必要となる微分方程式の解法や、フーリエ級数展開、フーリエ変換について学ぶ。
基礎線形代数Ⅰ	1 年次	前期	2	電子工学を学ぶ上で必要となる線形代数(ベクトル)について基礎から学ぶ。
線形代数学Ⅰ	1 年次	前期	2	行列の演算、行列式と逆行列の計算方法について学ぶ。また、行列を用いた連立一次方程式の解法について学ぶ。
基礎線形代数Ⅱ	2 年次	前期	2	電子工学を学ぶ上で必要となる線形代数(行列)について基礎から学ぶ。
線形代数学Ⅱ	2 年次	前期	2	線形空間の基底と次元、さらには部分空間や線形写像について学ぶ。また、行列の固有値と固有ベクトルの計算方法や、行列の対角化法について学ぶ。
基礎微積分Ⅰ	2 年次	前期	2	電子工学を学ぶ上で必要となる微分積分について基礎から学ぶ。
ベクトル解析と電磁気学Ⅰ	2 年次	前期	2	ベクトル解析について学びながら、電磁気学における電磁場の性質について学ぶ。
基礎微積分Ⅱ	2 年次	後期	2	電子回路の解析で必要となるフーリエ級数展開、フーリエ変換、ラプラス変換について基礎から学ぶ。
ベクトル解析と電磁気学Ⅱ	2 年次	後期	2	ベクトル解析について学びながら、電磁気学における電磁場の性質について学ぶ。
情報工学	1 年次	前期	2	電子工学を学ぶ上で必要となるコンピュータ関連の基本的な知識及び利用技術を学び、C言語によるプログラミングの基礎を学ぶ。
電子現象と電子回路	1 年次	前期	4	アナログ回路や電子デバイスの動作原理を、電磁気学的な視点から学ぶ。
電気回路	1 年次	前期	2	直流回路における基本的な理論や性質を学ぶことで、電気回路への理解を深める。
交流回路Ⅰ	1 年次	後期	2	正弦波交流回路における基本的な理論や性質を学ぶことで、電気回路への理解を深める。
複素数と電気回路	1 年次	後期	2	複素数について学びながら、交流回路の理論について学ぶ。
交流回路Ⅱ	2 年次	前期	2	演習問題を解くことで、交流回路の基礎理論についての理解を深める。
ラプラス変換と電気回路	2 年次	前期	2	フーリエ変換とラプラス変換について学ぶ。また、フーリエ変換を用いた波形解析や、ラプラス変換を用いた過渡解析について学ぶ。
電子工学Ⅰ	1 年次	前期	2	物質の構造や電子のふるまいなどを学ぶ。
電子工学Ⅱ	1 年次	後期	2	半導体デバイスの動作原理を学ぶ。
制御工学	2 年次	前期・後期	4	自動制御の基礎理論について学んだあと、有接点シーケンス制御とPLCによるシーケンス制御の方法について学ぶ。
生産工学	2 年次	後期	2	電子機器の設計・製作を通してモノづくりの一連の流れについて学ぶ。
安全衛生工学	1 年次	前期・後期	2	生産現場における安全衛生の確保・維持の方策と、災害発生時の対処の仕方について学ぶ。また、実験・実習時に、安全衛生の確保・維持を実践する。
AIリテラシー	1 年次	後期	1	AIの活用事例や各種データとの関連から、AIの可能性について学ぶ。
電子現象と計測Ⅰ	1 年次	前期	2	第三種電気主任技術者試験の計測に関する範囲を中心に、電気や電子回路における計測の技術について学ぶ。
電子現象と計測Ⅱ	1 年次	後期	2	第三種電気主任技術者試験の計測に関する範囲を中心に、電気や電子回路における計測の技術について学ぶ。
アナログ回路Ⅰ	1 年次	後期	2	トランジスタやオペアンプを用いた各種電子回路の動作原理を理解し、回路設計手法について学ぶ。
アナログ回路Ⅱ	2 年次	前期	2	各種電子回路の動作原理、電子機器への応用例及び具体的な回路の設計・製作方法について学ぶ。
デジタル回路	1 年次	前期	4	コンピュータ、各種デジタル機器の基本となる論理演算、論理回路について学ぶ。
電子回路製作技術	2 年次	前期	2	ライトレースカーを題材として、仕様を満足する電子回路の設計・製作方法について学ぶ。
AI・IoTシステムデザイン	2 年次	後期	2	この授業の前半では、AIとIoTについて Society 5.0 の要素技術の一つとしての概要からはじまり、AIと組込みIoTの技術の基礎となる Python 言語のプログラミングについて学ぶ。また後半では、AIと組込みIoTの技術を組み合わせたシステムを、Python 言語により設計・製作しながら、これらの設計技術と利用技術を身につける。
IoTとセンサ工学	2 年次	後期	2	センサについて、その動作原理について学び、IoT (モノのインターネット) などでセンサを利用するための電子回路、および取得したデータのマイコンによる処理の方法について学ぶ。
コンピュータ工学	2 年次	前期	2	コンピュータシステムのアーキテクチャを理解し、マイコンのハードウェアについて学ぶ。
基礎数学演習Ⅰ	1 年次	後期	3	前半は、就職試験対策としてSPI試験(非言語)について取り組む。後半は、『基礎解析Ⅰ・Ⅱ』及び『基礎線形代数Ⅰ』で学んだ内容についての演習問題に取り組み、数学力を身に付け、基礎の定着を図る。
工学系数学演習Ⅰ	1 年次	後期	3	1 年次前期に学んだ『微分積分学』について、さらに発展的な内容を学びながら演習問題に取り組む。
基礎数学演習Ⅱ	2 年次	後期	2	『基礎微積分Ⅰ・Ⅱ』で学んだ内容についての演習問題に取り組み、数学力を身に付け、基礎の定着を図る。
工学系数学演習Ⅱ	2 年次	後期	2	1 年次後期に学んだ『微分方程式』について、さらに発展的な内容を学びながら演習問題に取り組む。
C言語プログラミング演習	2 年次	後期	4	これまで学んだプログラミングについての演習問題に取り組む。また、応用プログラムを作成する能力を習得する。
技術論文の作法及び演習	2 年次	後期	2	ライトレースカーを題材として、技術文章の作成方法について学ぶ。

2026年度 授業科目一覧

掲載している科目のすべてを受講できる訳ではありません。
出願する前に聴講科目について協議をしてください。

電子技術科（都留キャンパス）
専門実技科目

科目名	学年	開講時期	単位数	内容
電気工学実験	1 年次	前期	4	電圧・電流などの物理量を理解し、各量を測定する技術を習得する。
電子回路実験	1 年次	前期	4	基本的な電子回路の特性や動作を理解しながら、回路を製作・測定する技術を習得する。
アナログ回路実験Ⅰ	1 年次	後期	2	トランジスタやオペアンプを使った各種増幅回路や演算回路を設計・製作して回路の特性や動作を理解する。
アナログ回路実験Ⅱ	2 年次	前期	4	アナログICを使った電子回路を製作して回路の特性や動作を理解し、アナログ回路の設計・製作技術を習得する。
デジタル回路実験Ⅰ	1 年次	後期	4	各種論理回路を製作して回路の特性や動作を理解し、デジタル回路の設計・製作技術を習得する。
デジタル回路実験Ⅱ	2 年次	前期	4	基本的なデジタル回路の動作原理を理解し、これを応用した回路を設計する。また、実際に回路を製作・デバッグすることで、回路の特性や動作を理解し、デジタル回路の設計・製作技術を習得する。
C言語プログラミングⅠ及び実習	1 年次	前期	4	C言語による構造化プログラミングの基礎を習得する。
C言語プログラミングⅡ及び実習	1 年次	後期	6	C言語の基本文法を学びながら、課題の分析やPADによる流れ図の設計手法を習得する。さらに、設計したPAD図を基に、C言語によるコーディング手法を習得する。
組込みプログラミング及び実習	2 年次	前期	4	マイコンとその周辺回路の構成方法、C言語によるプログラミングを習得する。
Pythonプログラミング及び実習	2 年次	前期	4	Python言語によるプログラミングの基礎を習得する。
制御工学実習	2 年次	後期	4	電子制御機器を製作するために必要となる要素技術を習得する。
電子製図実習	1 年次	後期	4	電子回路における製図手法と電子回路CAD及び回路シミュレーションの方法を習得する。
電子回路製作実習	2 年次	前期	4	ライントレースカーを題材として、仕様を満足する電子回路の製作方法について学ぶ。また、各種工作機械による機械加工や、基板加工機による電子回路基板の製作方法についても学ぶ。
AI・IoTシステムデザイン及び実習	2 年次	後期	4	この授業の前半では、AIとIoTについて Society 5.0 の要素技術の一つとしての概要からはじまり、AIと組込みIoTの技術の基礎となる Python 言語のプログラミングについて学ぶ。また後半では、AIと組込みIoTの技術を組み合わせたシステムを、Python 言語により設計・製作しながら、これらの設計技術と利用技術を身につける。
安全衛生作業法	2 年次	前期・後期	2	生産現場における安全衛生の確保・維持の方策と災害発生時の対処の仕方について学ぶ。また、実験・実習時に、安全衛生の確保・維持を実践する。

2026年度 授業科目一覧

掲載している科目のすべてを受講できる訳ではありません。
出願する前に聴講科目について協議をしてください。

情報技術科
専門学科科目

※2単位の授業は、1回100分の講義が18回

科目名	学年	開講時期	単位数	内容
電子工学概論	1 年次	前期	2	コンピュータの基本回路である論理回路について、論理素子の動作と基礎理論を学ぶ。
情報数学	1 年次	前期	2	コンピュータプログラムを学ぶための、数学的素養を学ぶ。
情報技術	1 年次	後期	2	国家試験の受験に必要なとなる情報技術に関する知識を学ぶ。
計算機工学	1 年次	前期	4	コンピュータを構成するハードウェアの機能、及び機械語プログラムの基本について学ぶ。
ソフトウェア工学	1 年次	前期	2	システム開発を行うための手順とその技法、ソフトウェア開発管理について学ぶ。
C 言語	1 年次	前期	2	C 言語の文法とその使い方を学ぶ。
生産工学	1 年次	前期	2	企業のシステム戦略、経営戦略、及び経営管理手法等に関する知識を学ぶ。
安全衛生工学	1 年次	後期	2	コンピュータに関わる衛生上の問題や、安全に関する考え方について学ぶ。
AIリテラシー	1 年次	後期	1	AIの基礎知識を学び、NNの基本となる行列の計算、簡単なNNの構築について学ぶ。
データ通信工学	1 年次	前期	4	コンピュータ通信に使われるTCP/IPを学ぶ。また、暗号化通信についても学ぶ。
ネットワークシステム	1 年次	後期	2	TCP/IPの理解を深め、ネットワーク構築やトラブルシューティングに使える知識を習得する。
オペレーティングシステムⅠ	1 年次	前期	2	オペレーティングシステムの重要性と、その役割や主な機能について学ぶ。
オペレーティングシステムⅡ	2 年次	前期	2	Linuxの基本的な利用方法について学ぶ。
オペレーティングシステムⅢ	2 年次	前期	4	Linuxをサーバーとして運用するための技術を習得する。
データ工学Ⅰ	1 年次	前期	2	基本的なアルゴリズムとデータ構造について学ぶ。
データ工学Ⅱ	1 年次	後期	2	応用的なアルゴリズムとデータ構造について学ぶ。
データベースⅠ	1 年次	前期	4	リレーショナルデータベースにおける基本的なテーブル設計や操作方法を学ぶ。
データベースⅡ	1 年次	後期	2	データベース運用について学ぶ。
応用データベース	2 年次	前期	2	参照系SQLを中心に、より高度なSQLを習得する。
図形処理工学	2 年次	前期	2	図形処理と画像処理の基礎理論について学ぶ。
C #	1 年次	後期	4	プログラミング言語の基礎として、C # の言語仕様とその使い方を学ぶ。
プレゼンテーション	1 年次	後期	4	実践的なプレゼンテーション手法について学ぶ。

情報技術科
専門実技科目

科目名	学年	開講時期	単位数	内容
情報数学演習	1 年次	後期	4	代表的なデータ構造の取り扱いを通じてメモリとポインタを理解し、メモリを意識したプログラミング技術を習得する。
C 言語実習Ⅰ	1 年次	前期	6	C 言語の文法を理解し習得する。また、デバッグやトレースなどのプログラミング基礎技術を習得する。
C 言語実習Ⅱ	1 年次	後期	4	アルゴリズムを考える力、プログラムを実装する技術を習得する。
計算機工学実習	1 年次	後期	4	マイクロコンピュータを使用し、プログラムによるハードウェア制御について習得する。
安全衛生作業法	1 年次	前期	1	疲労やVDT作業に関する健康障害など衛生管理上必要な予防対策と、労働災害防止策について習得する。
ソフトウェア工学実習	2 年次	後期	4	UML（クラス図、シーケンス図）から実装する力を習得する。さらにオブジェクト指向プログラミングの要素を理解し、オブジェクト指向言語らしいJava、.NETの使い方も習得する。
.NET実習	2 年次	前期	4	C#によるWebアプリケーションを開発するために必要なADO.NET、ASP.NETの利用法を学び、Webアプリケーション構築方法を習得する。
セキュアプログラミング実習	2 年次	後期	2	ソフトウェアの脆弱性を生む要因を学ぶとともに、脆弱性を回避するプログラム実装技術や、安全なソフトウェア実装を支える技術を習得する。
情報工学実習	2 年次	後期	4	Java、.NETのプログラミングにおいて意外と理解されていない要素にフォーカスをあて、危険なプログラミングをしないための技術要素や知識を習得する。
データ通信実習	2 年次	前期	2	Linuxをサーバーとして利用するための構築方法、運用方法を習得する。
ネットワークプログラミング実習	2 年次	後期	4	Web環境を利用したプログラミング技術を習得する。
図形処理実習	2 年次	前期	2	図形処理と画像処理の基礎理論から基本的なプログラミング技術を習得する。
AI実習	2 年次	後期	2	Pythonを用いて基本的なAIプログラミングを学び、AIの基本的な導入手法について習得する。
C # 実習	1 年次	後期	2	C # を用いたデータベースアプリケーション開発技術を習得する。
Java実習Ⅰ	2 年次	前期	4	Javaの基本的な言語仕様と、オブジェクト指向プログラミングの基礎を習得する。
Java実習Ⅱ	2 年次	前期	4	データベースを使用した実践的なJavaプログラミング技術を習得する。
応用Java実習	2 年次	前期	4	Webアプリケーション開発演習を通して、Javaを実践的に使用していく方法を習得する。
組込ソフトウェア実習Ⅰ	2 年次	前期	4	マイコンの機能を用いたプログラミングの基礎を習得する。
組込ソフトウェア実習Ⅱ	2 年次	後期	4	マイコンを用いた各種デバイスの制御、及びロボット制御を習得する。
Python基礎	2 年次	前期	1	Pythonの基本的な言語仕様とプログラミングの基礎を習得する。
モバイル開発実習	2 年次	前期	1	iOSアプリ開発に必要なSwift、iOSアプリ構築の基礎を習得する。

2026年度 授業科目一覧

掲載している科目のすべてを受講できる訳ではありません。
出願する前に聴講科目について協議をしてください。

観光ビジネス科
専門学科科目

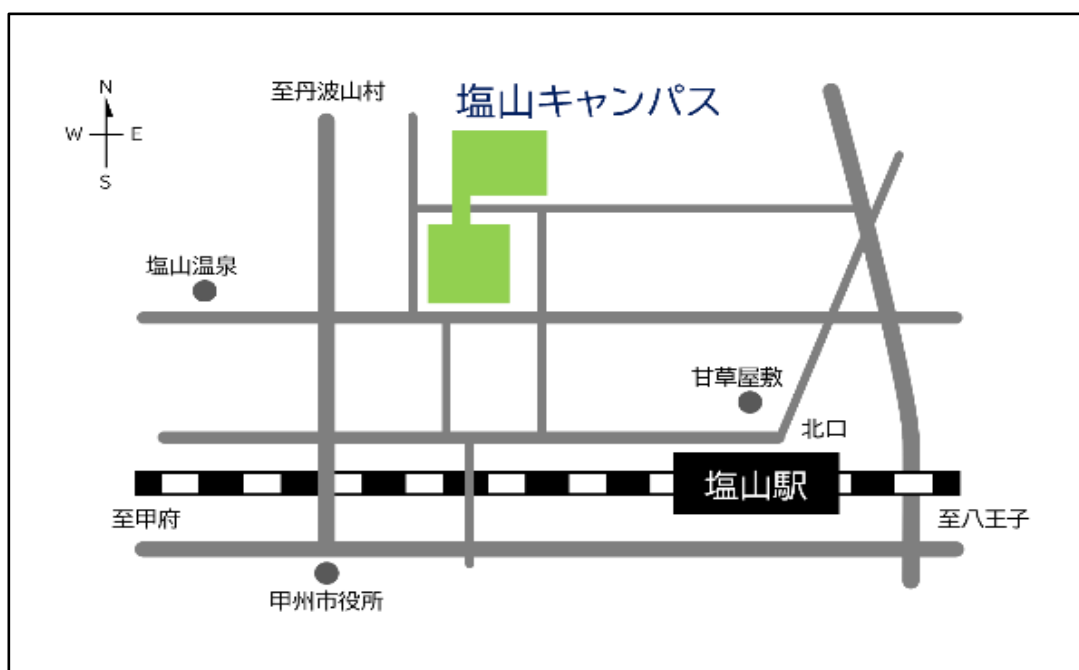
※2単位の授業は、1回100分の講義が18回

科目名	学年	開講時期	単位数	内容
ホテル概論	1 年次	前期	2	ホテル業の役割と特性について学び、商業として多面的・多角的に分析する知識と技能を身に着ける。
経営学概論	2 年次	前期	2	社会人として必要な一般的な経営に関する基礎知識を学ぶ。
接客心理学	1 年次	前期	2	観光客の心理特性について学ぶ。
観光振興論	1 年次	後期	2	地域資源を活用した観光振興の取り組みについて学ぶ。
表現学	1 年次	後期	2	観光産業従事者として必要とされる口語表現、文書表現、敬語方言について学ぶ。
流通管理学	1 年次	後期	2	ホテル・旅館等における管理部門の業務について学ぶ。
国内運賃・料金計算	1 年次	前期	4	旅行業務に必要な計数管理（各種運賃料金の算出等）について学ぶ。
公衆衛生学	2 年次	前期	1	公衆衛生の概念と健康危機管理、医療体制、生活衛生対策等について学ぶ。
各種約款	1 年次	前期	2	旅行業務に必要な各種約款に関する知識・技術を習得する。
簿記及び会計学	2 年次	前期	2	簿記の原理と株式会社の会計処理に関する基本的知識について学ぶ。
情報処理論	1 年次	前期・後期	4	コンピュータの基礎知識と基本的な操作方法について学ぶ。
安全衛生工学	1 年次	後期	3	清掃の重要性和調理機械・器具等による災害防止に関する知識を学ぶ。 観光・レクリエーション活動に必要な知識・技術、国内旅行業務取扱管理者試験に必要な知識・技術を習得する。
AIリテラシー	1 年次	後期	1	AIの活用事例や各種データとの関連から、AIの可能性について学ぶ。
関係法規	1 年次	前期	3	旅行業の根拠法令である旅行業法について学ぶ。
旅行業約款	1 年次	前期	3	旅行契約の基準となる標準旅行業約款について学ぶ。
ホテル経営学	2 年次	後期	2	ホテルの経営特性と管理部門の業務について学び、利益を最大化するための手法を学ぶ。
サービス理論	2 年次	前期・後期	4	観光関連事業のサービスの特性について学ぶ。
宿泊業務理論	2 年次	前期	2	ホテル宿泊部門の役割と業務内容を学び、業務を遂行するための知識を身に着ける。
料飲業務理論Ⅰ	1 年次	後期	1	料飲部門の役割と業務内容を学び、業務遂行に必要な知識を身に着ける。
料飲業務理論Ⅱ	2 年次	前期	2	より高度な料飲部門の知識を学び、接客サービス技術の向上を図る。
観光論	1 年次	前期・後期	4	「観光」に関する様々な領域についての基礎知識を学ぶ。
郷土観光論	1 年次	前期・後期	3	山梨県の観光資源、歴史、観光政策について学ぶ。
観光地理学	1 年次	後期	2	観光地域の形態ごとに、発展過程、課題と展望について、観光地の事例をあげて学ぶ。
観光事業論	2 年次	前期	1	観光事業を構成する観光政策や行政、観光産業について、その役割、歴史、現状、課題などを学ぶ。
調理理論	2 年次	後期	2	調理の基本技術と調理器具の知識、メニューの作成方法について学ぶ。
販売企画論	2 年次	前期	2	企業におけるマーケティングの理論と手法を学ぶ。
食品学	2 年次	後期	1	食品化学、食品の加工・貯蔵、食品経済について、また、国内の食物史について学ぶ。
食品衛生学	2 年次	後期	1	食品に起因する健康被害の内容、食品の衛生的扱いについて学ぶ。
施設・設備管理学	2 年次	後期	2	ホテル、旅館、観光施設等における設備と防災について学ぶ。

観光ビジネス科
専門実技科目

科目名	学年	開講時期	単位数	内容
接客サービス実習	1 年次	前期	2	観光産従事者として必要な接客マナーを習得する。
ワインリゾート演習	1 年次	後期	2	ワインや地元食材の知識、調理、イベントボランティアや校外学習を通じて食と観光の関わりについて学ぶ。
情報処理実習Ⅰ	1 年次	前期・後期	4	観光関連産業に適応した、効果的なアプリケーションソフトの利用方法を習得する。
情報処理実習Ⅱ	2 年次	前期・後期	4	観光関連産業に適応した、実践的なアプリケーションソフトの利用方法を習得する。
安全衛生作業法Ⅰ	1 年次	前期・後期	2	観光関連産業の労働環境や職業病、安全衛生に関する知識と管理方法を習得する。
安全衛生作業法Ⅱ	2 年次	前期・後期	2	観光関連産業の労働環境や職業病、安全衛生に関する知識と管理方法を習得する。
インターンシップH	1 年次	後期	8	ホテル・旅館における実践的なサービス技術を習得する。
インターンシップT	1 年次	後期	7	旅行会社、DMO等における実践的なサービス技術を習得する。
サービス実習	2 年次	後期	3	先進観光地への滞在中を通じて行政、宿泊施設、観光事業者等の連携による効果を学ぶ。
宿泊業務実習	2 年次	前期	4	ホテル宿泊部門に必要なサービス技術を習得する。
料飲業務実習Ⅰ	1 年次	後期	2	料飲サービスに必要な技術を習得する。
料飲業務実習Ⅱ	2 年次	前期	4	より高度な料飲サービスの技術を習得する。
サービス応用実習	2 年次	前期	4	ホテルを中心としたブライダル部門に必要な専門知識とサービス技術を習得する。
インバウンド	2 年次	前期	2	外国人旅行者の対応に必要な観光インフォメーションやサービスの提供方法を習得する。
国内観光資源	1 年次	前期	4	旅行業務に必要な国内の観光資源・歴史・文化・地理についての知識・技術を習得する。
海外観光資源	2 年次	前期	6	諸外国の観光資源・歴史・政治・文化・地理についての知識、旅行業務に必要な知識・技術を習得する。
海外旅行実務	2 年次	前期	6	海外旅行業務に必要な知識・技術等を習得する。
旅行業務演習	2 年次	前期	1	旅行業務に必要な知識・技術、旅行業務取扱管理者試験に必要な知識・技術を習得する。
手配実務	1 年次	後期	1	手配旅行の実務に必要な知識、旅程表の作成に必要な知識・技術を習得する。
国内観光研修	2 年次	前期	2	インドアの授業により学んできた観光・旅行業に関する知識について、実体験を通じて、理論と実践の有機的統合を図るアクティブ・ラーニングとしての研修旅行を実施する。
デスティネーション研究演習	1 年次	後期	1	観光地について、特性、市場、資源、ブランド力、SDGs、SNSといった視点や、学生独自の視点から分析、評価を行い、各自が結果を発表し、全員で議論を行う。
企画及び宣伝実習	2 年次	前期・後期	6	企画立案のための基礎知識、観光 P R、広告宣伝技法及びプレゼンテーション技法を習得する。
調理実習	2 年次	後期	2	ホテル・旅館等の料飲サービス業務に必要な調理技術を習得する。
食品実験	2 年次	後期	2	食品に関連する微生物の実験をとおして、食品の成分と栄養に関する知識を習得する。
外国語会話Ⅰ	1 年次	前期・後期	4	英語で積極的にコミュニケーションが図れる基礎的能力を養い、言語や文化に対する関心を高めるとともに、ホテルやレストランのサービスに係る基本的英語表現に親しむ。
外国語会話Ⅱ	1 年次	前期・後期	4	より実践的な外国語会話を学び、コミュニケーション力を高める。
外国語会話Ⅲ	2 年次	前期・後期	4	英語で積極的にコミュニケーションが図れる能力を養い、ホテルやレストラン及び観光ビジネスの業務のための英語表現に習熟し、実務で活用できる英語能力を培う。
外国語会話Ⅳ	2 年次	前期・後期	4	より実践的な外国語会話を学び、コミュニケーション力を高める。

案内図【塩山キャンパス】JR塩山駅北口から徒歩9分



山梨県立産業技術短期大学校

【塩山キャンパス】

〒404-0042 山梨県甲州市塩山上於曽1308

TEL (0553) 32-5200 (代)

教務学生課 (0553) 32-5201 (直)

URL <https://www.yitjc.ac.jp>

E-mail kyomu@comm.yitjc.ac.jp

【都留キャンパス】

〒402-0053 山梨県都留市上谷5丁目7番35号

TEL (0554) 43-8911 (代)